



# 白山花模様

Flower of Hakusan

## 白山に咲く花

高山植物は厳しい自然環境に耐えて花開くと言われています。冬は雪に埋もれ、夏でも低温で日照時間が短く、1年で数ミリしか生長できないのです。しかし、高山植物自身は案外快適に思っているかもしれません。「厳しい」というのは、人間が自分の感覚と尺度で勝手に考えたことだと私は思います。

ところで、白山は中部山岳から孤立した高山で、その高山帯も主峰を中心とした狭い地域に限定されています。そして、2702 mという高山帯としては下限の標高。これよりも西には高山と呼べる山域はありません。そのためか白山を南限または西限とする高山植物が100種を超えると言われています。加えて最近の気候変動があります。白山は「花の山」と呼ばれますが、そこで咲く花は、高山植物にとってはぎりぎりの環境に耐えています。

高山としては温暖な白山の高山植物は、比較的早期に咲きます。そして、その時期は梅雨と重なるため、雨に打たれながら花開くことになります。雨に打た

れると花は傷みます。チングルマやイワギキョウなどは花弁が裂けてしまうことがあります。傷だらけになって咲いている花を見ると、よくがんばって咲いてくれたなあと思います。

傷ついた花に罪はありませんが、写真の題材としてはいろいろと不都合があります。写真にしてじっくり見ると、花弁のわずかな傷があらわになってしまいます。被写体を探すときには、傷一つない美人花を探さなくてはいけません。はいつくばって、虫眼鏡で見るくらいの気持ちが必要です。

すべての女性は魅力的な個性を持っていますが、モデルになるには、ある意味で人間離れした美しさが必要になります。花も同じことが言えます。ただし、いつしか、花の傷つき耐えて咲く美しさを、ありのまま表現したいと考えています。

木村芳文



キヌガサソウ *Kinugasaso*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



キヌガサソウ (衣笠草)

かなり大きくなるが清楚さを感じる。注意してみると、いつも葉と花びらの数が同じことに気が付く。



post card



リュウキンカ *Ryukinka*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



リュウキンカ (立金花)

冷たい水しぶきを浴びるようなところで群生  
している。



post card



ミズバショウ *Mizubasho*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



ミズバショウ (水芭蕉)

低山では4月頃から咲きはじめるが、厳しい  
高山では夏に咲き、花も小さめで可愛い。



post card



ミヤマシシウド *Miyamashishiudo*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



ミヤマシシウド (深山猪独活)

大きなものは人の背丈を超える、打ち上げ花火  
のような迫力に圧倒されるが、密集した小さな花は繊細だ。



post card



ニッコウキスゲ *Nikko kisuge*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



ニッコウキスゲ (日光黄菖)

夏を代表する花で、大きな群落を作る。朝咲いた花は翌日にはしおれて、新しい花が咲く。



post card



クロユリ *Kuroyuri*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



### クロユリ (黒百合)

伝説の花であるが、当のクロユリは気にもとめていないであろう。



post card



ハクサンコザクラ *Hakusan kozakura*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



post card





イワツメクサ *Iwatsumekusa*

写真 / 木村芳文 <http://2702.jp/>



イワツメクサ (岩爪草)

山頂付近の荒れ地で、風雨をまともに受けながら咲いている姿に心打たれる。



post card

# 白山の写真



撮影者 木村芳文 Kimura Yoshifumi

1962年 香川県に生まれる。大学時代に登山をはじめ、主要な日本アルプス・東北の山々を踏破。海外では台湾の渓谷に足跡を残す。1986年 白山にはじめて訪れ、以降多いときには、年間90日を白山で過ごした。

お問い合わせ 木村芳文 写真事務所

石川県白山市瀬戸西18番地1

IP-Phone : 050-7510-0548

WEB site : <http://2702.jp>

## 『木村芳文写真集 白山』(能登印刷出版部)

厳しく美しく、白山の真の姿を、余すところなく。  
20cm × 22cm 96ページ 定価 2,310円

## 『木村芳文写真集 白山花模様』(能登印刷出版部)

白山で咲く、花の悦びを捉えました。

15cm × 18cm 64ページ

■通常版 定価 1,575円 残部稀少。お求めはお早めに。

■愛蔵版 定価 2,940円 100冊限定の上製本仕上げ。

一般書店では販売しません。

## 『北陸の靈峰 立山・白山』(東京新聞出版局)

北陸の靈峰を一冊に凝縮。立山の写真家高橋敬市氏との共著。  
25cm × 26cm 84ページ 定価 2,940円

## 『白山自然態系』(北國新聞社出版局)

山川里の大自然、累代の人々、共生と調和の白山自然態系。  
25.7cm × 25.7cm 108ページ 定価 2,500円

## 『白山の恵みに生きる』(能登印刷出版部)

私は白山の恵みの中で生きています。

20cm × 22cm 48ページ 定価 1,400円

■ご予算や展示場所に応じて、額入りの写真をおつくり  
します。お気軽に、お問い合わせください。



キヌガサソウ



リュウキンカ



ミズバショウ



ミヤマシシウド



ニッコウキスゲ



ハクサンコザクラ



クロユリ



イワツメクサ

絵葉書セット

## 白山花模様

白山自然態系  
写真 / 木村芳文

定価 500円